

新幹線対策課

1 九州新幹線西九州ルート of 整備促進

【目 的】

我が国本土の最西端に位置する長崎県を活性化し、県勢の発展を図るためには、主要都市との時間距離の短縮を図ることが最重要課題です。新幹線の実現を核として高速交通ネットワークを確立し、国土の均衡ある発展と九州地方の一体的浮揚を図るとともに西九州地域の活力ある地域づくりを目指します。

【概 要】

根 拠 法 令 全国新幹線鉄道整備法

名 称 九州新幹線西九州ルート

区 間 博多～長崎間 約 143 km
・博多～新鳥栖間 約 26 km：鹿児島ルート共用（フル規格）
・新鳥栖～武雄温泉間 約 51 km：整備方式検討中区間
・武雄温泉～長崎間 約 66 km：新幹線鉄道（フル規格）

整備方式 平成 24 年 6 月の武雄温泉～長崎間の工事実施計画(その 1)認可時点では、フリーゲージトレイン（FGT）を導入し、新鳥栖～武雄温泉間は在来線を活用することとされていましたが、FGTの開発の遅れから、令和 4 年度に対面乗換方式により開業することとなりました。

その後、FGTの西九州ルートへの導入は断念されたため、新鳥栖～武雄温泉間の整備のあり方については、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム「九州新幹線（西九州ルート）検討委員会」（以下、与党PT検討委員会）における検討を経て、令和元年 8 月に「フル規格による整備が適当」との基本方針が示され、今後は、関係者による協議を実施することとなっています。

長崎県としては、この関係者の協議へ積極的に参加し、議論を進め、西九地域の発展に寄与するフル規格による整備の早期実現を目指します。

〔フル規格の整備効果（国土交通省試算）〕

- ・所要時間（博多～長崎の最速） 約 51 分（対面乗換 約 1 時間 20 分）
(現行 1 時間 49 分)
- ・投資効果（B/C） 3.1
- ・収支改善効果 約 86 億円/年

県内の駅 長崎、諫早、新大村（仮称）

建設費 約 6,197 億円（武雄温泉～長崎間）

平成 24 年 6 月	武雄温泉～長崎間	工事実施計画（その 1）認可
平成 29 年 5 月	〃	工事実施計画（その 2）認可
平成 31 年 4 月	〃	工事実施計画の変更認可

開業方式 武雄温泉駅での対面乗換方式（令和4年度開業時）

F G Tの開発遅れを受けて、平成28年3月、与党P T検討委員会、国土交通省、鉄道・運輸機構、長崎県、佐賀県、J R九州による関係六者において、武雄温泉駅での対面乗換方式により平成34年度（令和4年度）に開業すること等を内容とする合意に至りました。

【今後の取組】

関係自治体等と連携し、西九州ルート of 全線フル規格による整備など、以下の項目について、国等に要望していきます。

- (1) 新鳥栖～武雄温泉間の整備方式に係る関係者間の協議を進展させ、整備効果が最も高く、西九州地域の発展に資するフル規格による整備の早期実現を図ること。また、西九州ルートへの直通運行も視野に入れたJ R佐世保線の輸送改善に向けた支援を行うこと
- (2) 関係者間の協議において、地方負担や並行在来線等の課題解決を図ること
- (3) 暫定的な姿である武雄温泉駅での対面乗換を一刻も早く解消するため、早期に環境影響評価の調査に着手すること
- (4) 新幹線整備に伴い、上下分離されるJ R長崎本線(肥前山口～諫早)において、J R九州から譲り受ける鉄道資産についても、並行在来線の譲受固定資産に係る特例措置の対象とすること

2 佐世保線等の輸送改善

【目 的】

平成4年11月の「九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）等の整備に関する基本的考え方」に基づき、新幹線の整備と併せて佐世保線及び大村線の輸送改善策を検討し、その整備充実を図ります。

【概 要】

九州新幹線西九州ルートは、国土の均衡ある発展、九州地域の効率的交通体系の形成、長崎県の発展のために必要不可欠であることを認識し、関係者間で鋭意その実現可能な整備方策について検討を重ねてきた結果、平成4年11月に佐世保寄りのルート案を変更し、現在のルートを新しい地元案として決定しました。

しかし、地方拠点都市としての佐世保市及びその周辺地域にはかなりの人口・産業の集積があり、今後の地域開発の可能性が高いことから、佐世保市に至る鉄道サービスの改善を図る必要があるため、長崎県、佐世保市及びJR九州で構成する「佐世保線等整備検討委員会」を平成5年9月に発足し、継続的に佐世保線等の輸送改善策の検討を行ってきました。

その結果、平成31年3月、西九州ルート（長崎～武雄温泉間）の開業時期を原則として、JR佐世保線の高速化を図るため、高速化工事（佐世保～有田間）と振子型車両の導入を一体的に実施し、「佐世保～博多間」の時間短縮を図る事業について、長崎県・佐世保市・JR九州の三者で合意に至りました。同年8月には、県とJR九州との間で工事に係る協定を締結し、現在工事が行われています。

なお、大村線の輸送改善については、沿線自治体の意向を踏まえ、JR九州に対して輸送力の強化や利便性の向上について要望を行っていきます。